

来月26日、県庁でスポーツドクター講演会

「リアル」医療責任者が登壇

県は、国境やスポーツ種目を超えて世界中のトップドクターが集う「スポーツ・ドクターズ・ネットワーク(SDN)」と連携したカンファレンス(講演会)を6月26日に県庁で開く。基調講演の講師はSDNのCEO(最高経営責任者)で、世界的な強豪サッカークラブ「リアル・マド



ニコ・ミヒッチさん

ミヒッチさん「効果的な準備」語る

リード」(スペイン)のチーフメディカルアドバイザー、ニコ・ミヒッチさんが務める。

昨年10月にスペインで設立されたSDNは今年6月に東京大でアジア初となるカンファレンスを開く。岐阜はアジア2番目となり、世界トップレベルのスポーツ医学の知見を健康増進に役立てるため、環境、女性、食、医療などの視点も踏まえた講演となる。

ミヒッチさんはリアル・マドリードで2017年から試合や練習に帯同し、ロナルド選手(ポルトガル)やモドリッチ選手(クロアチア)といった世界屈指のスター選手をサポート。23年からクラブの

医療責任者としてアドバイスを送っている。今回のカンファレンスでは「スポーツ開始前の効果的な準備について」と題して講演する。基調講演では他に、米ハーバード大医学部のアレン・ユギノビッチ教授も登壇する。

県内の企業・大学などによる取り組み事例の発表もあり、秋田屋本店(岐阜市)の中村源次郎会長、長谷虎紡績(羽島市)の長谷享治社長、朝日大健康スポーツ科学科の高橋幸平教授、高橋産婦人科(岐阜市)の高橋誠一郎院長、美濃加茂市の藤井浩人市長が登壇する。

参加申し込みは6月20日まで。定員は400人で、入場無料。問い合わせは県文化創造課文化振興係、電話058(272)1111(内線3122)。(稲葉亮)